

平成31年度 まちの課題解決活動応援プログラム 審査結果

団体名・事業名			交付額(円)
1	タネきち Art check-in	若い芸術家のシェアアトリエ「タネリスタジオ」と瀬戸市の暮らしを体験できる「ゲストハウスますきち」が連携し、来訪者に日常に潜むArtの魅力を体験してもらう。『観光×アート』のテーマでゲストハウスでの芸術家の作品の展示やトークイベントを開催し、また、せともの祭りでのイベントも開催。瀬戸市に遊びに来る若者に楽しんでもらうことで、若者の移住を促す。瀬戸市在住の若者も、自分の地域に誇りをもってもらうことを目標にする。	150,000
2	自分を大切にできる子どもを育てたい母の会 CAPプログラムの実施	子どもたちが本来持っている可能性や力を信じてそれを引き出し、大切な自分を自分で守る「CAP(子どもへの暴力防止)プログラム」を瀬戸市内の小学校で実施する。昨年度はおとなワークショップでニーズが高い内容であると確認し、2年目の今年度は子ども、保護者、教職員へのワークショップにより、虐待認知、虐待対応の専門的な知識を共有し、子育てしやすく人権意識・防犯意識の高い住みやすい瀬戸市の実現を目指す。	140,000
3	ほやほや編集室 ほやほや編集室	瀬戸市のリアルな暮らしを市外にも伝えるために、町歩きを実施し、Web情報を発信する。「ゲストハウスますきち」に編集室をおき、Web、Instagram、ポストカードや紙媒体を作成。瀬戸の認知度を上げ、瀬戸のファンをつくり、瀬戸に引っ越してくれるひとを増やすことを目標にする。	150,000
4	ガールスカウト愛知県第66団 めざせ100周年 “がんばれ瀬戸っ子”	多様化する社会の中で、年齢を問わずお金に関わるトラブルや犯罪が増加しており、生活面、経済面で自立できる子どもを育てることを目標とする。子どもたちが、自分なりの賢いお金の使い方を認識するために、小学生を対象に自分でお金を稼ぎ、そのお金を使う体験を通し、お金について考えさせる機会をつくる。	54,000
5	「こんなまちに住みたいナ」実行委員会 銀座なんでも生き生きマルシェ、たんけん・はっけん・ほっとけん まち歩きツアー開催	シャッター前・空き店舗前で毎月第1日曜日に「銀座なんでも生き生きマルシェ」を開催し、古い歴史ある瀬戸の街を再発見し、商店街に賑わいをおこす。また、以前作成したまち歩きマップを基に「まち歩きツアー」を実施し、まち歩きマップの改訂版を作成する。アーケードのある商店街の楽しみ方をあらゆる角度から仕掛け、暮らしを楽しむアーケード街に発展させる。	200,000
6	ご当地ヒーローでまちおこしの会 せとクルランドと協働し、瀬戸市の未就学児を対象にこども達の憧れ、正義のヒーローを用いた交通安全と命の尊さを啓発する事業	現在、瀬戸市における交通死亡事故の多さが問題となっている。子ども達に交通ルールを守る大切さと命の尊さを啓発するため、瀬戸のご当地ヒーロー「陶神オリバー」がせとクルランド(瀬戸市交通児童遊園)と協働し保育園等に出向いて「交通安全体操」を実施し、子どもたちに交通安全のメッセージを届ける。	150,000
7	防災ままのわ瀬戸 瀬戸で子育て世代への防災意識を高める事業	子育て世代の母親目線による防災について知識を高め、情報共有をし自助共助できる市民の育成を目指す。瀬戸の地域性と乳幼児連れママのテーマでハンドブック「防災ままのわ瀬戸」を作成し、7/6(土)開催予定のままのわフェスタにて配布。同フェスタでイベントブースを設け、啓発活動を行う。また、10月に子育てママ向け防災ピクニックを開催する。	176,500
8	NPO法人デジタルライフサポーターズネット デジタル活用支援員育成事業	デジタル技術が進み、スマートフォンやIoT家電などの普及が進むが、使いこなせる人とそうでない人の間に格差(デジタルデバイド)が生じ、特にシニア層で社会問題となっている。デジタル技術を活用し誰もが豊かな人生を享受できる社会を目指し、デジタル活用支援員育成講座と地域デジタル活用相談会を実施する。	165,000
9	瀬戸現代美術展Barrack実行委員会 現代アーティストと考える「瀬戸のまちとアート」	多様化するツクリテたちの発表の場を遊休施設で実施し、アートを通じ街の可能性や未来を考え、瀬戸の新たな街の価値を再発見することが目的。市民を巻き込み、瀬戸市在住の現代アーティストと行う写真を使ったワークショップ、「まちとアート」の未来についての公開勉強会・講演会を産業技術総合研究所中部センター瀬戸サイトを中心に開催する。	200,000
10	八幡台の環境問題を考える会 野良猫問題が起きないような環境づくり	「野良猫によるトラブル0」を目標に、野良猫に対する「正しい知識」を周知し、「野良猫問題が起きないような環境作り」を課題とした事業を行う。八幡台に限らず、瀬戸市全域を対象にイベントでの周知チラシの配布や、野良猫の一斉不妊・去勢手術を年2回実施する。	200,000
11	だんだん ひとりじゃないよ(子育てに困難を抱えるお母さんのケア)	子育てに困難を抱える親は、悩みなどを一人で抱え込み孤立することが少なくない。空き家をリノベーションして、子育てに困難を抱える親が安らぎ、寄り添うことができる場所「だんだんハウス」を11月11日にオープンする。オープンイベントとしてワークショップを実施し、お母さんたちが話しやすい場を作る。	150,000
12	クロガネモチノキ実行委員会 ヨイ夜市	瀬戸市の商店街の空き店舗を減らすため、新規の出店者を増やすこと、まちのファンを増やし賑わいを創出することを目的とし、芸術家を紹介する音楽ライブ「たゆたう音」、飲食店も参加する夜市を開催。昨年までの「クロガネモチノキ」のイベントだけではなく、平時のまちの魅力も紹介していく。	75,000
交付合計額			1,810,500